5月31日 火曜日 30日発行
昭和30年(西暦1955年)
発行所 内外タイムス社 東京都中央区銀座3の5
内外タイムス THE NAIGAI TIMES
第3112号
4版

天気予報 今晩 [illegible] 明日 [illegible]

予算折衝

金融債で折合うか

民主 今月中に妥結期待

[illegible]…て主張 …し自由 …金を活 …れれば …してい …引受 …なお開 …すてずに …いては …る、こ …は金融債で漸次妥協に向っているが、妥結までにはなお曲折があるものとみられる

政府与党としては卅日中に折衝の大筋について見通しを得、卅一日中にも両党首脳会談による政治的折衝に持込みたい意向のようである

右社、反対を表明

右派社会党は卅日の国会対策委員会で、民自両党の予算折衝が金融債発行に妥協点をおいているのに対し「政府の経済政策をくつがえす公約違反である」と反対声明を発表した

参院本会議

卅日の参院本会議は午前十時十九分開会

一、開拓融資保証法の一部を改正する法律案（内閣提出）を可決

一、計量法等の一部改正する法律案

一、自転車競技法等の臨時特例にかんする法律の一部を改正する法律案（以上、内閣提出衆院送付）をそれぞれ可決成立、同十時卅七分散会

国会に承認求める

首・外相答弁 濃縮ウラン、農産物交渉

衆院外務委員会

衆院外務委員会は卅日午前十時廿五分開会、鳩山首相、重光外相に対する質問を行った

森島守人氏（左社） 中共との領事の交換は政権を認めることになるからできないというのはなぜか

重光外相 領事交換問題は検討しているが難点が多く、日本と中共との貿易についてはできることから進めてゆきたい

森島氏 濃縮ウランの受入れは協定形式より条約形式の方が適当と思うがどうか

外相 条約でなければ国会の承認がいらないとは思っていない、形式上条約であろうがなかろうが事実上重要なものなら国会の承認を受くべきである、目下形式がどうなるかはわからないが、いずれにしても国会の承認を受けるつもりである

戸叶里子氏（右社） 濃縮ウラン受入れは近いうちに取決めるのか

外相 原子力調査委では（一）原子力開発の一環として濃縮ウランおよび技術援助の提供をうける（二）これと並行して原子力開発の態勢を整備することを決定し、政府はこれら閣議の承認を得たが、政府はこれに基いて交渉している、しかし成立するかどうかはまだ判らない

戸叶氏 アメリカ国会の終らぬうちに協定を結ぶ方針ではないのか

外相 交渉は専門的な知識が必要だからどうなるか何ともいえない

戸叶氏 日ソ交渉についての総理の見解はどうか

首相 日ソ交渉は目的が日ソの国交正常化にあるわけだが懸案解決も当然考慮に入れている、どれくらいの懸案が解決したら正常化に入るということはその時の情勢による

戸叶氏 戦争終結共同宣言を一応してから懸案解決にあたる考えはないか

外相 共同宣言よりも国交正常化という正攻法をとり、講和条約を締結した方がよいと思う

戸叶氏 戦犯の問題で専門家をソ連に派遣する考えはないか、また戦犯を日本で服役させることはできないか

外相 それが効果があるかどうかは交渉で検討したい

戸叶氏 日ソ交渉が国際情勢に左右されることはないか

外相 あるといえばあるし、ないといえばない、今のところその懸念はない

戸叶氏 沖縄の米軍が土地を買上げたことにつき日本政府は承認を与えたのか

鳩山首相 日本の領土を処分するのではないから承認はいらないと思う

戸叶氏 住民が反対しているのだから黙っているのはいけない

首相 土地の所有者から買上げることは差支えないが領土権の上において発生したトラブルについては日本政府に交渉の義務がある

菊地義郎氏（民） 米軍が立川基地に原爆を貯蔵してそこからソ連に出撃することは可能か

外相 日本を原爆基地にすることは日本の承認なくしてはできない

岡田春夫氏（労） 余剰農産物協定が国会の承認を得ない前に仮実施するそうだが本当か

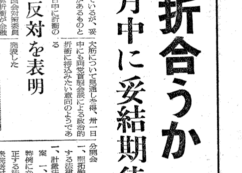
首相 国会にはかるつもりである

岡田氏 仮実施をするのか

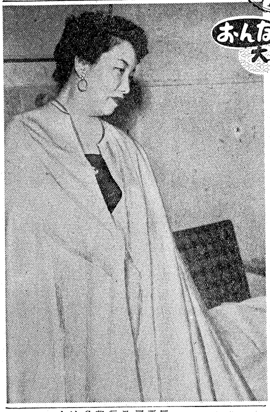
外相 仮実施は考えていない

岡田氏 濃縮ウランはアメリカ以外からも受入れるか

首相 アメリカ以外の国から受入れることを排除しない



衆院外務委で答弁する重光外相その㊧は鳩山首相



おんな大御所

淡谷のり子さん

堂々たる"お嬢さん"

[illegible]…歌ったのは「悩む」そうである、音楽の基礎ができているだけに、戦後派の若い歌手にはわからぬ悩みかも知れない、良心的というより負けん気なのだという、音楽学校へは母親のすすめでいやいや入ったが、家が没落して退学しなければならなくなったら、逆にアルバイトしながら卒業した、まあ死ぬまで歌い続けることだろう

○…素顔では年は争えないが、長いケープを舞台一ぱいに引きずって現れると、むかし憲兵から「オッパイをとれ」といわれたみずみずしい量感が舞台をさらってしまう、平凡なことばだが、貫録というもんだろう

○…ほとんど自分の時間のない忙がしさだが、儲けの方は「丁度赤字」だという、やたらに金を借りに来るそうだ、横にいた池田マネジャーに「あんたという撃退役がいるのに」と聞いたら「直接淡谷さんの所へ行っちゃう」と音をあげた、この女王無類のお人好しなのである、むかしバーをやったことがあるが誰でも連れて来てタダで飲ませて破産しちゃったという

—いまでも独身？と聞いたら嬉しそうに「はあ、お嬢さまです」

○…三浦環が死ぬまでお嬢さんのような派手な着物を着ていたという話が連想された、どっちも堂々たるお嬢さまである、いそがしいお嬢さんは弁当箱をひらいた、窓のそとにはメリケン波止場ならぬ丸ノ内のビル街が雨に煙っている

（明）

七月スイスで

巨頭会談 三国、ソ連に提案か

【ワシントン廿九日発UP＝共同】ワシントンの権威筋が廿九日語ったところによると、米英仏三国はソ連に対し、四国巨頭会談をスイスのローザンヌで七月後半に行うようすでに提案ずみである、英国のメーキンス駐米大使も同日CBSのテレビ放送で「西欧側はソ連に巨頭会談をローザンヌで開くようすでに申入れた」と語った

記者団があとで電話で確かめるとメーキンス大使は言葉を修正して「ローザンヌで開くことも一つの可能性として考慮されているという意味だった」と語ったしかし他の権威筋によると西欧側ははっきりと場所はローザンヌ、時期は七月後半の数日間と提案している

西欧側が提案した正確な日時はまだ外部にもれていない、しかし信頼できる筋によるとこれは以前にピネ仏 外相が語った七月十八日から廿一日という日付けに近い模様である

今こそ唯一の機会

日比賠償 ネリ大使言明

日比賠償交渉の成否はここ数日の成行にかかっている情勢である、記者は卅日午前日比谷日活国際会館のフィリピン代表部でネリ大使と単独会見、賠償交渉について同大使の見解を聞いた

この会見でネリ大使は ❶ 交渉の現段階は日本側の回答を待つばかりとなっている ❷ 現在をおいて日比賠償交渉を成立させる機会はない ❸ 帰国延期は日本側の要請によるものだが、あまり長くは待てない などの点を明らかにした

粋人酔筆

凡薬・奇薬・珍薬



僕の机上には今十四、五種類の薬が、ビン、ブリキ罐、紙箱等の容器に入って散乱している。すでに手をつけたのもあれば、まだ封のままなのもある。買ったのも二種類ぐらいあるが、あとはみんな寄贈品だ。効き目があったと思うのもあり、効能書ほどでなかったようなのもある。買ったのは、にがくて黄色い下痢止めと、スイス製の鎮痛剤だが、鎮痛剤はこの間へんとうせんが痛くて求めたもの。下痢止は先月、宮古、盛岡で腹痛の時に求めたものだ。

いちばん右側から見てゆくと、先ず男性用の強精剤がある。主効は男性ホルモン分泌不足に因る諸症（陰萎・勃起力減退・性欲欠乏・快感減退・遺精・早漏）その他いろいろ書いてある。ビンの中を見ると、空になっているから、一応のんだことは確かだ。しかし余り効き目はなかったようだ。たぶん効能書の終りに「男子一般老衰現象の予防及び回復」という条を頼ってのんだものであろう。

次に健脳剤卅錠入のビンがある。これも空になっているからのんだわけだ。これは廿個も貰ったのだが、人に分けたりした筈で、子供の頭脳膜炎をやった者でも、常用していれば治るということをきいたが、僕自身は特に頭がよくなったとも思わない。ただ頭がボンヤリしている時に、これを二、三粒噛みつぶしてのむと、やがて頭が スーッとするようだ。

次のビンは、脳下垂体前葉ホルモンで、これは一〇〇錠だが、すでに三分一減っている。これは効き目があるような気がする。

次は脳溢血防止剤だが、これは最近贈られたばかりでまだ用いていない。

次はこの間仙台に行った時、大学のN博士が「これをふだんのんでいるといいぜ」といって、一ビンくれたもので、ルチンや、メチオニンの他にビタミンB1、B2、B12、C等が入っている大粒の黄色い錠 これは毎日一粒ずつのんでいる中に、無くなってしまった。



次のビンは、タバコのニコチンを消すという粉末で、すでに市販になっているものもあるが、これは、これから売出したいといって見本にくれたもの、こういうものは、果して効能があるかどうかは、相当実験的な気持で試してみないと判明しないものだ。

次のは、高単位総合ビタミン剤で、これもビタミンだけ八種類も入っていて、全部で廿二、三種含まれている。これは一日一錠でいいと記してある。このビンもすでに空になっている。効いたかどうかは不明であるが。

次に消化剤がある。これはこの間さる所でうなぎを食い過ぎたため翌朝少々腹具合がよくなかったので、一乃至三錠とあるのを、十錠ほどのんだら、一回で治ってしまった。

次は「肝臓を強め、疲労を回復し、体力を増強する」というこの頃はやりの薬で、値段も相当だが、効力も十分と いわれている。百粒で八百円のが最近 六百五十円になったから、一粒六円五十銭のわけだが、酒の前、または後で一、二粒のんでおくと二日酔もなく、疲労もこないで 身体の調子が いいようだ。このところ僕もこの糖衣の黄色い薬を愛用している。

次にアンプル入りの 整腸剤が ある。これは疫痢、赤痢、腸チフスその他熱性下痢や急性腸カタル等にはよく効くというが、実際腹下しなどには、効果テキメンであることは保証できる。なんでもこれを発明した人は、卅年前から、南洋で熱帯植物の研究をした人で多数の熱帯植物から有効成分を抽出、溶液にしたもので、その中には万国植物学界にも薬用植物として、報告のない珍薬が含まれているというが、僕にその薬を持ってきた人は疫痢で医者が見放した自分の子がこの薬でケロリと治ったといっていた。

その他、中風で倒れたら、三日以内にのませればすぐ或いは百日以内に元に戻るという粉薬もある。これは九州で七代にわたって伝わっている神薬だというが、まだ実験はしてみない。これをくれた僕の友人は、一服のんだだけで肩のコリがケシ飛んだといっていた。

石黒敬七

東京株式仲値

□新株落 △配当落 （30日前場終値）

特定銘		東高圧	117	旭化成	321	カボン	49
東海上	273	昭電工	84	山陽パ	96	三井物	136
郵船	55	日本曹	75	日本パ	92	第一物	97
新三菱	90	旭電化	—	国策パ	99	白木屋	250
日清紡	265	三菱造	73	東北パ	119	高島屋	79
味の素	285	三井造	105	大東紡	94	日活	81
三越	277	三菱重	60	商船	50	松竹	197
平和不	196	石川重	89	三井船	45	東宝	1258
三井金	109	精工	134	飯野海	40	大映	173
三菱金	83	東洋ベ	114	西武	350	日本粉	121
日鉱	78	日立造	48	藤田興	219	日清粉	150
住友金	93	[illegible]	45	東京ガ	66	日本ビ	145
三菱鉱	41	日平	23	東電	428	朝日ビ	172
古河鉱	60	古河電	71	日銀	2000	キリン	191
同和鉱	108	日立製	69	東銀	80	宝酒造	82
住友炭	56	東芝	65	三井銀	—	台糖	220
三井山	56	三菱電	85	富士銀	89	明糖	110
北海炭	52	小松	61	日証金	86	甜菜糖	120
東邦亜	60	日本光	138	安田火	108	野田醤	190
帝石	64	キヤノ	145	大正海	85	森永	278
日石	94	東京光	38	住友海	75	明菓	166
昭和石	96	東洋紡	131	千代田	75	日水産	76
東燃	112	鐘紡	113	鋼管	64	昭和産	88
三菱石	107	富士紡	108	日製鋼	61	東洋醸	72
大協石	113	大日紡	77	八幡鉄	51	合同酒	104
日東化	71	日東紡	60	富士鉄	49	三楽	83
日産化	72	片倉	34	神戸鋼	55	大阪糖	148
三菱化	99	東邦レ	104	日特鋼	126	王子紙	204
三井化	109	帝繊	64	日軽金	172	十條紙	213
協和醗	107	中繊	55	日金工	55	本州紙	87
東合成	111	帝人	121	日セメ	123	三菱紙	87
三共薬	140	東洋レ	171	磐城セ	227	北越紙	48
信越化	80	三菱レ	121	小野田	77	三井不	765
		倉レ	82	横浜ゴ	206	三菱地	488
				旭硝子	139	三井倉	80
				富士写	117	澁沢倉	82
				小西六	106	東洋埠	—

市況 強含み

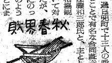
民、自両党の本予算折衝妥結濃化を伝えて前週来好転した市況は週明けも緒方自由党総裁談などもあって全般は小幅まちまちながら一段と明るさを加えている、特定株は東海上に山一の一万五千の売物が見られたがマバラの買物で小締ったのをはじめいずれも強含み、繊維株は消極的な動きから全般に動意薄場面だが日鉄鉱、藤田興などの値嵩品薄株が小口買に上進したのにつれて食品、金ヘン、海運株の一部に小高いものが散見された

▽高い株＝日銀白卅円、日鉄鉱十二円、日産十円、藤田興八円、三井不六円

▽安い株＝西武五円

兜町「座談会」余聞

三鬼陽之助



財界春秋

職業柄、ときどき座談会の司会をしたりメンバーとして出席する。過日兜町で十三人の愛人を持つことで有名な合同証券社長の佐藤和三郎氏と、主として氏の相場観について対談したが、調子にのって次のようなことにまで脱線した。弱気論者の私など、あまり面白くないので、脱線の罪は、どちらにあるか読者のご判断にまかすが、初夏の清涼剤として…。

三鬼「ところで、相変らず十五人の愛人はそのままで」

佐藤「そんなにない。この前、十三人と話したじゃないか。俺は馬鹿者かしれないが、一ペン関係すると棄てられんのだ」

三鬼「十三もよく回れるネ」

佐藤「馬鹿。一年も二年も会わんのもいる。なにせ廿二、三で三人も四人も新橋、赤坂で持ったんだからナ」

三鬼「芝浦じゃないの。俺そなことといって…」

佐藤「それ以前だ。それからスッテンテンに夜逃げ同様になった」

三鬼「箱根の強羅花壇は本妻である」

佐藤「たまにある。君は何人いる」

三鬼「僕は女房唯一人だけだよ」

佐藤「それは今どき珍らしい。それでよく我慢できるな」

三鬼「当然じゃないか。ところで、三人はどこと、どこなの？」

佐藤「そうでもない。しかし、あそこは黒字だ。俺はどの女も月々、いくらやるということをせず、金のある時、一ぺんにやっている。その後はみな自立経済だ」

三鬼「いま可愛がってるのは？」

佐藤「若いの三人だ。週に一ぺんずつ通ってる」

三鬼「二度という説もあるが…」

三鬼「××と××と××だろう」

佐藤「あまり詳しくないな。その程度では…」

三鬼「ところで毎日、朝は兜町、午後はゴルフ、夜は愛人宅と、それでよく軀がもつネ」

佐藤「ゴルフでもたしているんだ。この程度なら至極平気だ」

三鬼「とにかく偉い。あんたは正直で、隠さないから。いまどき珍らしいよ」

佐藤「馬鹿だからサ。卅万、五十万の金で一ぺん関係して棄てるなら、こんな面白い遊びはないけれど、それが出来んから苦労している。俺がいつも、一生苦労の連続だという訳サ」

三鬼「そういう苦労なら、あやかりたい。いまどき、ひとかど経団連や商工会議所で社長、専務面している連中でも、子供にアルバイトさせて大学に通わせている者が多いからネ」

佐藤「そればかりは秘密」

二市長決まる

【福島発】福島県勿来市長選は廿九日行われ古川伝一氏（六七、無新、保守系）が初代市長に当選した

【新潟発】新潟県十日町市長選は廿九日行われ山口孝一氏（六三、無新、保守系）が当選した

川柳

吉田有司選

父のないしるしに母は額を塗り　千葉 大松

親方親の喧嘩に遠慮せず　千代田 南渡波

喫茶店ぐらいじゃ母のあかぬ懸　三鷹 太公望

宿報にようやく馴れた女秘書　武蔵野 米島住郎

家中を背負う化粧に念を入れ　杉並 吉岡善雄

熱のない見合に度胸ついてくる　中央 猪刈帆見

出張の帰り二号へ先きに寄り　中野 高野芸太郎

内外抄

「予算妥結」が取結ぶ民自の縁ではなくて、両党の色気でまとまる予算ざんす、緒方さん。

◇

日共が軍事組織を解いて平和工作一辺倒へ。火炎ビンなどの火遊びが火傷の元と悟ったは大進歩。

◇

日本は独立国だ、イヤ半独立だと左右社会党が突ッ張り合う。「ハ、ハ、ノンキダネー」

◇

ケゴンがダークホースのオートキツにやられた。吉川さん、平家物語で栄枯盛衰は悟ってる。

◇

天皇杯でグッと呑み干した優勝の味はタマルまい。栃、スッカリお相撲天皇になった心地。

青春無宿 (21)

大林清 作　下高原健二 画

ナンバー・ワン（二）

「ママの彼氏よ」

そう耳打ちされて、光代はまさかと思ったが、真弓はすぐ云いなおした。

「ほんとは彼氏と思ってるのはむこうだけで、ママの方は適当に、利用してるらしいわ。だってママには四、五人ぐらいそういうのがいるんだから」

なるほどそう聞けば、たった今の紹介の仕方などに、うなずけるものがあった。中年に足をかけた女の、熟れ切った魅力を、残らず身につけたような千子と、変に動物的な醜怪な感じをうけるその老人とでは、あまり釣り合がとれなすぎた。

「あの菅野って爺さん、お金だけは持ってるんだ。北海道の漁場の親方で、小樽に住んでるんだって。お酒は一滴も飲まないくせに、東京へ出て来ると、こういうところをあっち こっち あるきまわるのよ。お金に目がくらんで、あんなのとつきあう女もたまにはいるらしいけど、よっぽどのスレッカラシかバカだわよ。ママは悧巧だけどね」

真弓は吐き出すように云って、大方あけていた、眼の前のジンフィーズを、一と口に飲み干した。

光代は仕方なくどった。

「ここへおかけ…」



さしむかいの椅子へかけようとした光代の手を、菅野はいきなりつかんで、自分の横へ引きすえた。

「お前いくつだ」

「廿一です」

光代は数え年を云った。まだつかまれたままの手首から、悪感が全身へつたわる想いだった。

「千子より十以上も若いのか、頬っぺたがスベスベしているな」

菅野は腐りかけの鰯のような眼で、光代の顔をなめまわした。テーブルの上には、グレープ・ジュースにブランデイを落した飲み物が、まだ口をつけずに乗っている。これではお酌でまぎらすことも出来ない。

「働いて金をもうけなきゃ困るのか」

「ええ、困りますわ」

「フン、そうか」

ほかに話題がないらしいのだ。ちょっと首をかしげて、何か考えていたが、

「名刺をやろう、そのカバンをあけてみてくれ」

と、眼で向う側の椅子にある赤革の事務カバンを示した。

光代はこの時とばかり、菅野の横をはなれて、そっちの椅子に移り、カバンを膝の上にのせた。口金をあけてひらくと、裸のままつめこまれている千円札の束が眼に映った。ほかにわずかな書類がはいっているだけだった。

「ないかな、なければこっちだ」

菅野は上着のポケットを探って苦もなく名刺入を取り出した。光代にカバンをあけさせたのは、札束を見せるのが目的だったらしい。レジをやっていた光代の目分量では、五万円ずつの帯封をした札束が、廿ぐらいはあったようだった。

珍キテレツ毛ズネの競艶

伊東絹男ら初のお目見得

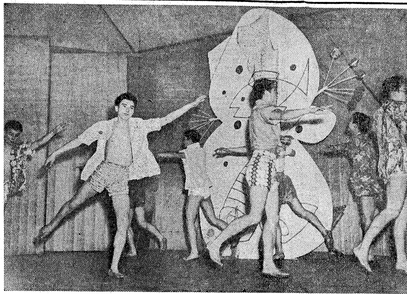
八頭身時代を女性の一手販売に任せていたんでは大和オノコの恥とばかり、あまたオトコが集ってファッション・ボーイの養成所"モダン・ビューティ・スクール"が誕生したのは既報の通り去る四月も初めのこと、ここで週三回のレッスンをみっちり二ヵ月、半年の卒業にはまだ間があるというのに、このほど東京銀座は山葉ホールで五十一名のファッション・ボーイが"美と力のジョウ"と題する水着と夏服のファッション・ショウをデモり、毛ズネの妍？を競い合った

ムズがゆき濱辺の踊り
満場の女性は興奮と冷やかしのチャンポン
赤面し 消えも入りなん風情

○…定刻一時を卅分経過したというのに幕はまだ開かない、観客席には廿歳前後の女性が大半、これまた銀座ニュー・ルックを着込んで、これからはじまろうとする日本ではじめての男性ファッション・ショウ、世紀の祭典？の開幕を待ち焦れている、一方楽屋では四坪ほどの控室にファッション・ボーイが押し合い、へし合い、発散する体臭でむせかえるようだ「どう？ドウランこれくらいでいいかしら…」「大丈夫よ、ライトが当るとそれくらいがちょうどいいのよ」「弱っちゃった、このパンツ」「どうしたの？」「だって前ンとこがダブ〱なんですもの」「しょうがないじゃない、もう幕が開くのよ」てなアンバイ、荒らくれ男の子が聞いたんではギョッとする女性用語の連発である、流行の先端を行くものすべからく「M」はマイナス、「W」過剰の時代となったらしい

○…観客がしびれを切らしたころやっと幕が開く、第一景が「鎌倉の浜辺にて」―つまり男性の水着と浜辺スタイル、むくつけき毛ズネもあらわにファッション・ボーイがぞろぞろ舞台に現われると、観客の乙女たちは興奮半分、ひやかし半分でワァワァキャァキャァ沸きはじめた、舞台上ではバレエもどきに優美な体操やボールのうけわたしに懸命の熱演、だが女性の嬌声は一向におさまらない、面食った伊東絹男君たち、まともに顔もあげられず、下を向いてモジモジソワ〱、真ッ赤になってトチッてる、場内に流れるレコード音楽だけが軽快に時間を経過してゆく、第二景は「夏の夜の軽井沢高原にて」一景でやゝ舞台度胸がついたか、瀟洒な洋服を着込んで毛ズネをかくしおおせた安心感も伝ってか、やゝ落ちついた絹男君たち、音楽に合せて軽快なステップを踏んでショウを展開、むくつけき裸の"美と力"にヘキエキした観客もスタイル満点の洋装姿を見るにおよんで [illegible] 「ママァー素敵！」「ホラ右から三番目の方、いいわネ」という声がかれこれ約卅分、ファッション・ボーイ世紀の祭典は終った

○…出演したボーイたちは十七歳の高校生から卅一歳のサラリーマンと種々雑多だが、なかには自衛隊勤務五年の国土の護衛に挺身するO君もおれば、元ボクサーのK君もいるといった具合、出演料は養成期間中とあって小遣い程度の千円を頂ける、主催者のローランド桜井氏にファッション・ボーイ誕生の弁を聞くと「女性のファッション・モデルはもう数の面からいって飽和状態に達している、これからの新しい活躍はファッション・ボーイに期待したい…」と抱負のほどを示しているが、出演した五十二名のボーイたちは口を揃えて「チャンスをつかんで映画か舞台、あるいはテレビ放送にでも進出したい、これがモノになればいつでもファッション・ボーイとはグッドバイしたい」という野心家ばかり、果して桜井氏のいうファッション・ボーイに専念する奇特な絹男君が現われるかどうか…



海中の躍る魚もかくあらん…とファッション・ボーイの熱演？



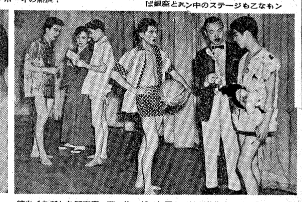
これぞ"海浜モード"。手に手をとり合えば銀座とおん中のステージもこなせん



フィナーレ、中に挟まったモデル嬢は絹男君たちのサシミの"ツマ"なるよし



"ちょっとパフ貸して…""ハイ、ここよ"てな具合の楽屋風景



待ちくたびれた観客席―幕一枚へだてた舞台では桜井先生、演技指導に必死

あすの運勢 ＝五月卅一日＝ 高島象山

▲一月生―機運に乗って躍進し堅実に努力すれば利達栄昌家内平和
▲二月生―悲観も消えて次第と晴れやかに進展に向う移轉旅行大吉
▲三月生―物事円満をかき片寄り通せず他人の事で損失する事あり
▲四月生―何事も大雅量を以て濁濁合せ呑む気概あれば目的叶う
▲五月生―大事は調い難く小事は調う静かに徐々と進むに利多き也
▲六月生―虚勢を張って自己を誤り損をするなり酒色の道を慎しめ
▲七月生―浮沈はあるも一心に努力し倦むことなきは目的叶うなり
▲八月生―目先きの利を計りて有利なり稼業商売繁昌あり交渉纏る
▲九月生―奸人の好餌となり迷う て他動的に迷惑を蒙り易い移轉凶
▲十月生―所信を敢行してその目的を達する而し分限を越しては悪し
▲十一月生―周囲の情勢は円満に有利に至る進展を計り面目改新吉
▲十二月生―何となく気分重く浮き立たぬ稼業に少しさわり有なり

大相撲 なぜなぜ ならば

問＝文明の今日でも相撲だけはなぜハダカでとるのでしょう
(答) 着物や洋服の上からではフンドシがしめられないからです
問＝勝てば白星、負ければ黒星とは又如何なる理由からでしょう
(答) 勝って黒星ではテンでワリに合わないからです
問＝行司が軍配を右手に持つのはなぜでしょう
(答) 左にウチワを持つと動く気がしなくなるからです
問＝弓取式で弓をふり回すのはなぜでしょう
(答) 何も持たないでやると気違いと間違えられるからです
問＝土俵に塩をまくのはなぜでしょう
(答) 砂糖だとまかないでみんなナメてしまうからです

人生相撲四十八手

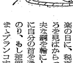
△肩すかし▽ 立ち上り瞬間、浅く組んで"公約"という古式にのっとった手から入り、あとは三バン連続の張り手で押しまくる、相手がこの公約くさいぞ？と土俵際で気がつき踏みこたえたところにはとっくに当選しているという手、こんどの選挙でも新代議士がもっぱら使ったものである、花嫁がコタツの中で使って、知らん顔している手もやはりこれの一種だが、ただ単に"すかし…"と呼んで、臭い点だけが共通している別手である

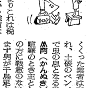
△空手チョップ▽ 力道産KKが使い出してから、デフレの波にのって、やたらに流行した手荒な極めわざ、主として相手会社がグロッキーになったところを見はからって、二、三発このカラ手を乱発すると大抵おしまいである、業界では空手形チョップと聞いただけで試合を棄権するものがあるくらいだ

△のど輪攻め▽ つい最近も各所でこの奇手が使われて、新聞ダネになった、つまりこれは税吏山が"差押え"という強引な戦法で攻めてくるのに対し、人民川が必死に応戦する際の極め手である、大体税吏攻勢の千秋楽の日に、税吏のやってくるころを見はからって、カモイに丈夫な綱を輪にしてかけ、その輪に自分の首を通して、フミ台にのり、もし差押えできたらこのまゝブランコするぞとおどしながら、思いをこめてにらむ、ただしこの際、ほんとに自分の咽喉を攻めちまったら、いくら水が入っても取直しのきかないような結果になるから、その辺の手加減が大事

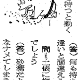
△河津掛け（かわずがけ）▽ 不況時代と共に隆盛をきわめている、五ヵ月月賦専門店などに行って、品物を買い、一ヵ月分だけ払って、あとはドロンという、まことにやりきれない手、"買わず掛け"というのが本当の呼称だが、一般には"月賦投げ""ふみ倒し"などという言葉で親しまれている、この手を数多くくった業者は大体、左前に倒れ、土俵のペンペン草をつかんで虫の息となるのが特徴

△閂（かんぬき）▽ これは夫婦喧嘩のとき主として使われ、男の方に戦意のない場合が多い、まず男が千鳥足という出足で深夜に帰ってくる、女性側はそこで角を生やしながら「今何時だと思ってるんですッ」「ピシャリッ」と、門をしめて門をかけ、一方的勝利に終りがちである、但しそうされても、相手は大抵「てやんでエ、ウイーッ」と門の外に座りこんでゴキゲンであるという、始末におえない極り手だ









寸鉄街
あまからクラブ

モダン歳々記
男性美の詩人

一八一九年五月卅一日、「草の葉」の一巻で知られた米国の民衆的な詩人ワルト・ホイットマンが生れた。彼は東部の百姓の子で奴隷制度に反対し、南北戦争には看護兵として従軍し野戦病院で献身的に傷病兵を看護し、その人道的な実践を行ったが、この詩人が同性愛者であったことは有名だ。詩集「草の葉」にも幾多の例があり、彼は男性の美しさを強調して謳っている。

「われは讃えん肉の踊き、愛着のその躍きは、我をめぐり、我はそをめぐり去りやらず、うなずきてもろともに歩み去るまで…その顔の素晴らしさは謳うものなし、されどみめよき男らは、素晴らしき顔のみならず、手足腰のたゝずまい、まこと不思議よ、歩むときそのうなじ、腰より脚へ伸びゆくそのすがた、衣服さえ匿しおゝせず―」

哲学者のプラトーや美術家のレオナルドのように、この謳直な詩人が放逸なワイルドやランボーのように同性の肉体に嘆美の眼を向けていることは面白い。青年時代の従軍生活が彼をそういう方向に駆り立てたのであろうか。彼は一八九二年に六十三で没した。(鮭)

世界珍風譚 (イタリア)

ローマの法廷では、今しもチアノ裁判長係りで傷害罪の被告パヤンセーノの事実審理が行われています。裁判長は厳かにたずねます。「するとなんじゃね被告は、妻がビタミン剤を飲まないからというのでビンで頭をなぐりつけ、全治一週間の傷を負わせたというのじゃね」パヤンセーノ「はい、たしかに一発ガンとやりました。でも、それは夫として当り前のことをしたまででございやす」「当り前のことだって？」「はい、わしはご覧の通りの頑丈なからだ。それに引きかえ、妻は弱々しい細っそり型で、わしのやるせない気持をあ。ビタミンでも飲んでわしと張り合うぐらいのからだになってくれといっても、あいつはききあしねえ。ついシャクにさわってやっちゃったんでございやす」「それにしても血が出るほどなぐらなくてもよかったんじゃないか」「はい、頭から血が出たって結婚の晩に出たのにくらべれあなんでもねえんで。それに、傷が二週間も治らなかったもんでさあ、あん時ァ」

愛読者優待
浮世絵鑑賞と温泉入浴
箱根強羅へ日帰り行楽
6月30日まで定期バス運行

半額優待一名（通常料金一千円を）五〇〇円 小人三三〇円 ☆コース・東京驛八重洲口（前八時）出発、強羅常磐ホテル―美術館―強羅出発（後四時）東京着（七時半）☆この社告切抜き前売所で参加会員券（五百円）をお求め下さい☆前売所・本社事業部（56）八六四六、箱根登山（28）四四〇二、他に白木屋、松坂屋、電鉄ガイト、小田急京橋案内所
後援 箱根登山鉄道・主催 内外タイムス社

30日（月） ラジオとテレビ

	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★ 1310KC
6	00 ❶子供のシンブン❷生きている山脈（完結篇） 25 物語「オテナの塔」	05 英語会話◇今日の市況 30 受信機講座 富村正春 40 科学クイズ中川八太郎	10 東西こぼれ話 小金治 15 スイート・コンサート 25 バイバイゲーム（関）	00 劇「少年宮本武蔵」 10 劇「すずらん大郎」 25 バンド・タイム	00 劇「ポツポちゃん」 25 劇「なんばん太郎」 35 歌謡百貨店
7	00 ニュース・天気予報 15 録音ニュース 30 三つの歌 宮田アナ 小田原中央公民館より	00 ジヤズバンドと交響楽団のための協奏曲 30 心のひとこま「黒い白鳥」宮口精二 東恵美子他	10 録音ニュース 20 文学サロン「稲妻」 30 四つの明星 津村謙 照菊 吉岡妙子ほか	00 録音ニュース 10 音楽とお話 望月衛 20 ものまねコンクール 市村俊幸 大久保怜ほか	00 ラジオ夕刊（耳の新聞） 20 花のステージ 30 ❶漫才 和子・〆子❷落語「ずっこけ」柳枝
8	00 お父さんはお人好し アチヤコ 浪花千栄子他 30 浪花節「河内もめん」 芙蓉軒麗花 愛花	05 きょうの国会から 20 鼎談「悩みの多い地方教育財政・1231億の波紋」 藤田武夫 下玉利和男他	00 劇「三破風館」ドイル作 山形勲 永井智雄他 30 ボクシング世界フライ級選手権試合実況 パスカル・ペレス対白井義男 【中止の場合】◆9・10 銭形平次捕物控◆9・35 ❶漫才❷歌謡曲 雪村他	00 音楽リーグ「早大ルンバ」対「法政エリマ」 30 劇「雪之丞変化」市川中車 岩井半四郎ほか	00 ハロー・ハロー・クイズ 司会 テディ・中村 30 大学勝抜歌合戦 司会 益田喜頓 山内謙一
9	05 ニュース解説館野守男 15 街録「最近の保守合同問題をどう考えますか」 40 春子の手帖 メイコ他	00 名作劇場「王子と乞食」 山本安英 関根信昭 木下秀雄 小山源喜 汐見洋 須永宏ほか		00 何処へでも 徳川夢声と動物園 30 歌謡浪曲「お富さん」 五月初子 東家みさ子他	00 親子演芸会 リレー浪曲「三島の捕物」木村富士松 木村重松 30 歌の二人三脚佐伯徹他
10	15 新家庭読本「奥様の手料理」―録音構成― 40 風流歌草紙 本木寿以	00 ❶初級英語 小野嘉寿男❷上級国語 増淵恒吉 45 気象通報	05 きょうのニュースから 15 劇「新選組」松本克平他 30 ホルベルクの時代より	00 大学受験春期基礎講座 英文和訳 岩田一男 30 解析（1）田島一郎	00 劇「南無三宝」小沢栄他 15 落語「子宝」志ん好 35 昔懐し活弁時代
11	10 世界をつなぐ 20 甲斐の織姫竹内てるよ	20 虫歯予防に使う弗素について 美濃口玄	10 科学の眼「催眠実験」 小保内虎夫 成瀬悟策他	00 青空会議 日本の原子力利用はどうあるべきか	00 スポーツ・カレンダー 15 座談会「小選挙区制」

各地で好評！ 日米テレビ

テレビ

★NHK★ ◆6・00 仲よしニュース◆6・30 芸に生きる人 高村豊周◆7・10 海外週間ニュース◆7・30 ジエスチヤー◆8・00 映画「渡り鳥何時帰る」◆8・30 劇「やがて蒼空」南条秋子ほか◆9・15 ニュースの焦点

★NTV★ ◆6・00 お楽しみえほん◆6・15 国内スポーツ◆6・25 フランス歌曲集 古沢淑子◆6・45 手品教室◆7・30 浪曲・次郎長外伝 相模太郎◆8・00 ボクシング「ペレス対白井」◆9・40 おさらい会 松風綱ほか

★KR★ ◆6・00 人形と影絵「青銅の猪」テアトルプツペ◆6・20 短篇映画◆7・00 タレントスカウト「紅白歌合戦」◆7・40 新宿末広亭から寄席中継 円遊 猫八 周一 柳好ほか◆9・00 ニュース◆9・10 スポーツ

あすの番組

NHK第1	NHK第2	ラジオ東京	日本文化	ニッポン
7・45 朝の訪問 金森八郎	8・00 療養の時間永井三郎	8・20 ラジオ・スケッチ	8・25 劇「青春のある所」	8・15 お早ようブーちゃん
8・05 名演奏家の時間	8・30 六作曲家の時間	9・45 想い出を語る（石橋）	9・15 ラジオ小説「三家庭」	8・45 お好み歌謡曲
8・30 趣味の手帖 木村伊兵衛◇うたのおばさん	9・15 ラジオ音楽国語教室	10・10 名作アルバム「めし」	10・40 劇「君ひとすじに」	9・00 劇「サザエさん」
10・05 けさの話題松宮克也	10・15 歌劇「ファウスト」	11・35 音楽のスーツケース	11・35 連続劇「東京の人」	10・45 天婦羅の揚げ方
11・15 朗読「晶子曼陀羅」	10・45 世界名曲めぐり	12・15 末弘ゆきとリトル	1・15 落語随想 金馬	11・00 連続劇「信子」
	11・45 電波を巡る生活と夢	1・30 作文「暮しの中から」	2・00 私たちの生活から	11・35 朗読「大阪の宿」

浪人街道 (172)
木村荘十 作 野口昻明 画

男姿（三）

不動の丹次が道中を心配して、お供につけてくれた子分というのは、年の頃卅四、五、渡世人に似合わない要心深い男で、美代吉と六利根の渡し舟をもう一度逆にわたって二人きりになると、

「美代吉姐さん」と声をかけた。

「よせやい。長脇差をぶち込んだお兄ィさんを、姐さんはねェだろう。美代吉といいねェ」

「そいつァいけませんよ。そりゃァ美代吉なんて名のやくざもあるかも知れませんがね。どうも弱そうな名でいけませんや…第一敵地へ乗込むんだ。何とかいい変名をつけましょうや」

「美代吉って名がいけねェって…」

美代吉は考えていたが、そうだと、浅香啓之助の浅をとって、

「じゃァ浅吉って名にしようか」

「いいね兄貴、浅吉はいいぜ、あんたが浅吉なら、俺がこい蔵も変だな…幸蔵といくか」

「幸蔵兄ィ」

「何だ浅？ へへへ、姐さんいいかね」

「年が若けェんだ、お前が兄貴で俺が弟分」

「うふ、すまねェな。浅ァ、この振り分け、お前ェ持っていきな」

「あれ、それを俺にかつがせようっていうのかい」

「嘘だよ、嘘だよ。ちょっと云って見ただけだよ。うふッ、いい気持だなァ。こんないい男の弟分と初夏の旅と来やがらァ。へえ、へえッ、悪くねェなァ、浅ァ」

「うるさいね。そうそばへ寄って来ちゃァ、歩きにくくってしようがないじゃァないか。変なことをすると承知しないよ」

「大丈夫。安心しな。へあまた子分のあるその中で、ピッピィ…と来らァ」

「なんだいそりゃァ」

「かたい男といわれた私」

「通りすがりの人が笑ってるぜ」

「心配しなさんな、口説いたって駄目なことは分っているんだ。ちゃァんとおいらは聞いてしまったんだぜ…啓之助さんのためならばあたしゃァたとえ屁になっても…」

「よせやい」

「ぶ男にゃァ生れたくねェ。おいらァ今度という今度は親を怨んだね…だが浅ァ」

「なんだい」

「お前と俺とはかりにも兄弟分だ 宿をとったら、一諸に風呂へ入って、背中ぐれェ洗いっこしてくれるんだろうな」

「おきゃァがれ。助平野郎」

「あ、痛ェてェてェ。もう少しで生爪をはがすところだった。江戸の女ァ手荒いね」

幸蔵は突き飛ばされて、石につまずいた指をおさえた。

「そいつァ禁句だぜ。兄貴」

「辛れェ旅になったもんだな。おあずけを食った犬より悪いや。見込がねェんだからな」

「今、初夏の旅はいい気持だって云ったばかりじゃねェか」

「そりゃァそうだ、昼間はね」

「いやな兄貴だな。そんなら飯盛女でも何でも買やァいいじゃないか、おいらは文句は云わねェよ」

「それがさ。今までは旅先の女でも、ちょいと渋皮がむけてるとか何とか、いい女にも見えただろうがこれからはそうはいかねェからな」

幸蔵はしょげた顔をした。



初夏の話題

お座敷サロンとは？
新宿西武駅前 芙蓉会館
日本座敷に展開する色気の放射
飲んでみてさわって五百円

◇…"知らざるは呑んべえの恥"といっていい過ぎでないのが、新宿西武駅前の芙蓉会館の中にある「お座敷サロン」である。何が変っているかといってこんなケタ外れの呑んべえ天国を見たことはない。キャバレーとも違うようだしバーでは勿論ないアルサロでもないし料亭とも違う。いわばそんなモロモロの場所のエロティックな要素だけを全部抽出して、それを一堂に集めたような所だと思えば間違いない。

◇…キャバレーのようだといえば、それは専属バンドや豪華なショウがあることだろう。踊り出た全裸の美女が、ヌラリクラリと客席を練る所なんぞはストリップ劇場以上の興奮。下から覗いて"見えた"と叫んで脳溢血を起したハゲ頭の紳士？がいた程、毛穴まで覗けるという物凄いエロの放射である。

◇…料亭のようだといえば客席には芸者が百五十畳をブチ抜いたお座敷だ十名もいて、それが又ヤケに芸達者揃いと来ている。芸者不要で芸者遊びを楽しむ所なんぞは料亭そのものといえるだろう。

◇…しかもお遊び値段が極めて安い。五百円でお酒なら二本においう点だろう。十八娘から三十年増まで、オヤジのY談でしこたま仕込まれ、濡っ放しちゃないかと思うような、腰の振り方まで変にナマめかしい女ばかりザッと八通しがつき席料、サービス料も含んでいるという。絶対カケ値なし。これ以外ビタ一文いりませんと支配人も保証している。亭華な建物に迷わず五百円フトコロに堂々と遊ぶことをお奨めする。「ビクビクするな。江戸ッ子だろう。五百円だといってるちゃねえか」変に疑うと支配人からこんなタンカを吐かれ恐れがある。キップのいいことでも東京一。気が向いたらアルジの藤森氏を呼んでY談を聞き給え。徳川夢声老ぐらいの話術をもっているから、二時間三時間アキるを知らず過せるだろう。

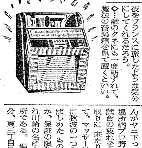
ジューク・ボックス
魔法の音楽箱出現！
ボタン一つで好みの音楽が聞ける
大井町の話題 「阿波屋」

◇…戦後急速に発展した大井町は今や新宿、渋谷と並んで銀座、浅草をしのぐ盛り場に発展した。隆盛途上にある街だから、いろいろ話題を生む新企画、ニューフェイスが絶えず登場して、都会人士の注目の的となることも再三だが、最近話題の的となった二つのニュース。一つは金星館がシネマスコープを設備してミリオン座と名を替え新発足したことと、もう一つは、このミリオン座の前に"魔法の音楽箱"を出すな"でお馴染みのジュークボックス（魔法の音楽箱）をもつ喫茶店が登場したことだ。「阿波屋」といえば西口と東口に本支店をもつ、大井界隈唯一の老舗だから既にご存知の向きも多いと思うが、設備したジュークボックスがまた大変な話題を呼んでいる。

◇…東京に三台とはないというアメリカ製の機械で、十円銅貨一つ入れれば、ジャズでもシャンソンでもお好みの音楽が自由に聴けるという特別装置をもつ機械。音色はハイフィ式電蓄と比較しても劣らない優秀なものだし、ボタン一つで操作出来る便利さだから、早くも音楽ファンが殺到、阿波屋では嬉しい悲鳴を上げている。

◇…店内は淡青を基調とした涼感のある彩光で、店の真中には色とりどりの花で飾った噴水が水をはじき、カーテン越しの窓の向うは花壇、といった感じの素晴しい調度である。独りで珈琲をすすり、好きな音楽に耳を澄ませて憩えばオフィスの疲れもケシ飛んでしまうこと請合いだが、愛人づれならもっと素敵だ。"現金"の主題歌「グリスビーブルース」でも聴きながら、静かに語れば、初夏の一夜をフランスに旅したような気分にしてくれるだろう。

◇…話のタネにも一度訪ずれて、魔法の音楽箱を見て置くといい。





ミュージックレストランとは？
★亀戸駅前 芭蕉★
また現われた東京名物

国電亀戸駅前に、東京では初めてという、ニュースタイルのレストランが現われて話題を呼んでいる。

「芭蕉」というのがその名だが、変っているのは専属バンドつきのレストランだということだ。室内はキャンドルのほのかな明りで、ナイト・クラブの気分そのまま、酒は勿論、コーヒー一杯でも気軽く入れて、しかも食事は一流の味二人づれで一夜を過せば、バー、キャバレー、レストランと三軒歩かなければ味わえない気分を一堂に集めたのがみごとな企画だ。女性は一人もいず、全て清潔なボーイが用を便じてくれる所はナイトクラブと同じだから向い合ってカクテルかコーヒーで憩い、ほのかに炎えるハートを暖めあって踊り甘いタンゴの曲に肩を寄せても、誰も気に留めるものはない雰囲気だ。席料百円で時間に制限なく、コーヒーは一杯八十円。二、三時間もネバッて飲み踊りバンドを聞けばアベックの天下である。

二つの部屋にロマンス満つ「ボア」

錦糸町駅前のスタンド・ローズの二階にある「ボア」は、ロマンチックな喫茶店だ。パリ郊外の恋人たちの憩いの巣"ボア"（森）のように、いつも楽しげに語り、ささやき、メロディーに酔う若い人々で一杯だ。

この店の名物は二つの部屋の異った雰囲気にある。一つは恋人たちの巣、"北欧的な部屋"で、設備の一つ一つも柔らかく愛を語るにうってつけ。もう一つは"アメリカ的な部屋"で明るく近代的なのは商談向きか。下町に珍らしい一流の味もコーヒーファン渇望の的だ。

川崎ニュートルコは美人揃いで有名

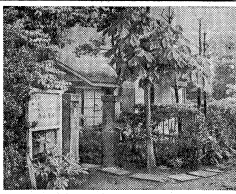
"ミス・トルコ"も東京一の美人揃いだと有名な「川崎ニュートルコ」は、同じ温泉でも眼の保養が一つ余計に楽しめる、とあって連日満員。川崎付近の社長や重役さんがヤニ下っている図も多いが、場所柄プロ野球や実業団の選手が試合の疲れをなおしたりぜい肉を取りに来たりする。うまく当って、マッサージのミス・トルコ嬢に秋波の一つも送って反応があればしめたものだがこの点はどうか、保証の限りではない。ともあれ川崎の名所といって恥じない場所である。場所は川崎駅から五分、東三丁目通りである。





宛ら気違いに刃物
暴力女医の行状

昨報「医は仁術」であるべき街の一開業医、それも傷害致死という前科もちの女医が、二少女に暴行を加えたという事件は、青少年保護育成運動が行われている折だけに大きな反響を呼んでいる。女医は「私はちょっとしたことも出来なかったので……」と人命を預る医師としては実に恐るべきあいまいな申立てをして保官を驚かせており、果してこのような異常性格の持ち主に医師としての資格があるだろうか—以下この女医市山春子(四四)の[illegible]



乱暴女医市山春子がやっている市山病院

診察室から悲鳴
泣いて帰った患者も
被害者の話

まずこの女医について近隣の話を総合してその人間をうきぼりにしてみよう

ご主人はいないようです。七年前でしたか、金沢大[illegible]院長と結婚したと聞いて[illegible]祝いをやったら二、三日[illegible]

[illegible]

またそのすぐ隣の人は

変人ですよ、やたらに文句をいう、すぐどなり込んできてわめ[illegible]

[illegible]よく診察してくれ親切という人もあるがまた逆に[illegible]いきなり上膊部をギューッとつ[illegible]

[illegible]ずどなりつけられ、住込んでから一週間目の同廿日水をかけられるやらホウキ、タライで全身をなぐられた挙句、髪の毛をつかまれて家中を引きまわされた(B子さん)以来連日のように打つ、ける、殴るの乱暴をうけ続けた(B子さんは毛髪が三分の一もむしりとられた)殺されるのかと思った時もあった(B子さん)

住込みは女中というわけでなく、看護婦見習いということで、室代はいらない代りに家事の手伝いもしてくれと頼まれていた、先生(市[illegible]

喫茶店がポン窟
巧妙な組織、四百万円稼ぐ
新宿

警視庁覚醒剤特捜班では淀橋署と協力卅日までに新宿区花園町三五和田組幹部荻野善次(三八)同区歌舞伎町八五五無職倉持次郎(三五)倉持ら栃木八郎(三三)ら十一名を覚醒剤取締法違反容疑で検挙、ヒロポン五〇〇cc入アンプル百本二cc入アンプル三万六千五百本を押収した

荻野は同区歌舞伎町八五五先に名目だけの喫茶店「ゆかり」を経営、これをポン窟にして倉持に責任を持たせ、ヒロポンは隣家の屋根裏にかくし、栃木ら九人の子分にそれぞれ見張り、仕入れ、販売、保管係など役目を持たせて昨年十一月ごろから検挙されるまで付近の飲食店の女給、不良などに五cc一本十四円で仕入れたものを百円で密売約四百万円を稼いでいたもの

同ポン窟は一日平均百五十人ぐらいのポン常習者が出入していたといわれ、新宿付近の最大のポン窟で、今までに各署から約百回にも上る手入れを受けていたが、隠匿が巧妙のため荻野は一回も検挙されたことがなかった

白河高校生遭難
那須嶽山麓で嵐に遭う
一名死亡

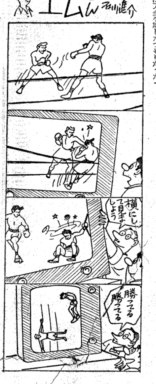
【福島発】白河高校山岳部員十六名が日光国立公園那須嶽山麓で遭難、一名が死亡した、白河高校山岳部員十六名は鈴木忠雄教諭(三〇)の引率で廿八日午後一時白河出発日光国立公園甲子温泉付近にキャンプを張り、廿九日甲子山と三本槍山の間の鏡沼(南会津郡下郷村)に行き、キャンプに引き返えす途中みぞれ混りの雨と寒さに襲われ三年生広瀬武夫君は死亡、同遅沢秀夫君、一年生曽我祥夫君ら六名は重体となり次々に七人が倒れた

一行は遭難者を残し甲子温泉に救援を求めに急ぐ途中さらに九名は離ればなれとなり、鈴木教諭はようやく卅日午前六時甲子温泉にたどり着き白河署甲子温泉派出所に救援を求めた

白河署では白河山岳会員十名、同署員、医師など卅名で救援隊を組織し現場に急行した、卅日午前十時現在、三年の佐川国寛君が行方不明である

白河高校橋本秀夫教諭談 なんとも申しわけない、学校当局としても山岳部としても、事前の準備は万全を期したつもりだった、一行は国体の山岳競技の県予選に出るため行ったものだった

気象関係も出発前に調べた、一[illegible]



湘南電車、名古屋まで

東海道本線の電化工事の進展により大垣—豊橋間に八月ごろから湘南型電車の運転が始められるが、これとは別に東京—名古屋間三六三・三キロの長距離電車運転が国鉄で計画されている

現在国鉄が所有している湘南型電車は百九十五両で東京から熱海伊東、沼津や静岡、浜松まで運転されている、しかし午前七時から九時、午後五時から七時のようなラッシュ時にはわずか二両の運用予備車(いつでも使用できる予備車)と廿五両の検車予備車(工場で修理検査中の車)を除く残り百六十八両がほとんどフルに動いているのに対し、長距離列車は午前一時から四時までの間にいたっては運転中のものゼロ、運用予備車百七十両と運転可能の車は全部駅か操車場で休んでいる

そこでこれらの車を使って夜行列車の便が悪く、利用者も相当多い名古屋周辺の旅客のため夜間準急または急行としてすでに電化の完成している東京—名古屋間に湘南電車初の長距離運転を行おうというもの



○…へ誰を待つやら銀座の街角…"アクセサリー"を求めてカメラマンと銀座をブラついていると、八頭身の美女が三人、何やら楽しそうに話していた、そこでパチリ、彼女たちが一斉にふりむいたらプーンとえもいわれぬ香りが漂ってきた、と思ったらカメラマン氏が「やァ、こんにちわ」知合いのファッションモデル嬢だった、なるほど八頭身なわけである、はて「大きなハンド・バッグですね」といえば、彼女たちは吹きだして「これバニティ・ケースっていうんです、お商売道具」

○…なるほど、バニティ(虚栄)とはよくいったものだ、彼女たちは、この中に商売道具の宝石や貴金属などのアクセサリー、化粧品一揃いのほか、メモ帳、万年筆、財布、チリ紙…を入れて歩くだけだが最近は六頭身族まで好んで持って歩くことしの流行だそうである、つまり、八頭身族をきどってか、或はまた「わたしはこれじゃないと入りきれないほどのアクセサリーを持っています」とディスプレイ(誇示)して歩くためなんだろうか、全く近ごろの銀座には大きな鞄だの大きな楽器だのを持って颯爽と歩くお嬢さんが増えている

○…その美容院の数は銀座八丁だけで何と七十二軒、宝石貴金属商が廿五軒、片手間に宝石を扱う時計商が廿二軒、趣味の履物店十一軒、足袋専門店(主として金春芸者が顧客)五軒婦人服、洋裁店、デザイナー計五十六軒、呉服商卅一軒、飾扇子専門店三軒、飾りボタン、刺繍各一軒といった具合で、銀座は文字通りおしゃれの街、アベックか女連れでないとはばのきかない街、そこで、手持不沙汰な男性のために紅燈緑酒の巷が待っているという寸法だが、これがまた何とキャバレー、バー、社交喫茶を合せると三百廿五軒、料亭(待合)四十一軒という勢いで(以上いずれも四月一日現在)全くもって銀座は"虚栄の市"なのである【写真は銀座四丁目付近で何やら語り合うファッションモデルたち】

東京アクセサリー
銀座の女

"女のサディスト"
荘田博士の話

[illegible]中診察室に入り急に出て来てど[illegible]十一時すぎに寝[illegible]した、早く逃げ[illegible]、あとでどんな[illegible]ことをされるかとてもこわかった、患者さんがいつか泣きながら帰ったことがあったが、診察室から悲鳴を聞いたこともあったと二人は語っている

いえる行為はど[illegible]だろうか、また[illegible]うか医博荘田修[illegible]みる

[illegible]普通は男性がア[illegible]女性がパッシ[illegible]ころから女性は[illegible]ズムが多いがこのよ[illegible]元祖マゾッホ[illegible]ード侯爵で知られるサディズムは普通は男性がアクティヴ(能動的)女性がパッシヴ(受動的)なところから女性はマゾ的である場合が多いがこのように女性のサディズムの例もまた稀ではないようだ、元祖マゾッホの著書にも一女性が自分でジョージという男の名をつけて音楽家ショパンや詩人ド・ミュッセ等をいじめていたという、日本の場合でも徳川二代将軍秀忠の長女千姫は豊臣秀頼の内室となりその死後惚れていた本多忠刻に嫁したが早没したので千姫は断髪して竹橋の北の丸に新築した御殿で通る美男を片っ端から呼び込み、中に入った男は生きて再び出ることがなかったと伝えられている、ハヴロック・エリスの「愛と苦痛感」フロイドの「マゾヒズム論」やクラフト・エビングもこの問題を心理学的にあるいは生物学的にとりあげ特にフロイドはあらゆる人々には多少の差はあっても死の本能があるからサド、マゾヒズムもすべての人にあると説いているが、ただこれを異常な方法で象徴的に爆発するかしないかであり、おそらくこの女性は爆発勝ちなサディステックな型となっているようだ

腕自慢・理容コンクール

◇…東京都理容学校PTAという床屋さん学校主催の理容技術コンクールが、卅日朝十時から新宿生活館ホールで開かれた

◇…競技に参加した卒業生は男女五十五名で、みんな学校で修得した優等生? ばかり、一等賞には知事賞が贈られるという【写真は理容技術コンクール】



運転手に刺身包丁
格闘、自動車強盗捕う

卅日午前一時十分ごろ中野区本町通り一の四城西タクシー朴東冠運転手(三三)は杉並区天沼から西荻窪までの約束で乗せた若い男に同区西荻窪二の五先暗がりで刺身包丁を背中に突きつけられて脅されたが、気丈な朴さんは左手で包丁をはねのけ車外に逃げ出し大声で救いを求めたので、あわてた賊は車を運転逃げようとしたが、駈けつけた荻窪署員が格闘の末逮捕した調べでは住所不定無職岩崎正治(三〇)といい、最近佐世保市から上京したが金がなくなってやったと自供、強盗現行犯で同署に留置された

先暗がりでいきなり風呂敷に包んだレンガで後頭部を殴られ金治十日間の傷を負わされた上、料金をふみ倒されたと淀橋署に届出た、同署で緊急手配したところ、同二時ごろ同区戸山町七戸山ハイツ内で早稲田署員が世田谷区用賀町一の一二六草葉方東京高等鍼針医学院学生大竹光弘(三)を逮捕、追及たところ自供たので強し盗傷害容疑で留置した

運転手にメリケン食わす

卅日午前一時廿五分ごろ足立区千住三二八新和タクシー梅津順吉運転手(四八)は浅草雷門から乗せた若い男に新宿区西大久保四の七〇

独眼灯

○…強盗と窃盗のベテラン? 二人組がつまらぬ洋傘一本と靴二足で再び留置場入りとなった、住所不定無職前田孝(三八)と出納昇次(三七)で、前田は府中刑務所を強盗罪で七年、出納は新潟刑務所を窃盗罪で五年とそれぞれ刑を終え、さる廿三日上野の山で同病相憐む? 仲となった

○…そこで一仕事をと廿八日夜川崎市上丸子一五三五林孝生さん方から傘一本古靴二足を盗んで廿九日夜台東区谷中初音町二、古物商生沼菊之進方に売りにきたところを御用となったもの

○…「久しぶりに娑婆の風にあたったがスッカリ昔の腕も鈍っていた…」と悪のベテラン二人組は嘆いていた

勝因 騎乗作戦の成功
ダービー戦後評

[illegible]

たオートキツに凱歌があがり、日本ダービー第廿二回目の栄冠馬となったが、同馬の勝因は果してどこにあったか、結局二本柳騎手の騎乗策戦の成功ということが出来よう、同馬は血統馬でもあり、馬格も雄大、ダービー馬としての条件は十二分に備えていたもののさつき賞とNHK杯では競って弱い缺点を暴露した、これを十分に承知している二本柳騎手は他馬と競り合わないためには逃げる以外手なしと見て、玉砕戦法で臨み鬪に当ったわけである

同馬の父は月友、母はトキツカゼ

[illegible]

カミサカエの二着はまず順当、イチモンジは終始好位置につけて奮戦これ努めたが、不得手の雨馬場では如何ともし難く、その粘りも四角まで、ついに矢つき刀折れて後退してしまった、ウゲツは期待されたいつものすばらしい差し脚が使えず凡走に終ったが、これは従来と戦法を代えはじめから先行の一団に近接した位置でレースを進めたことに理由がありそうだ

ヒシタカ、ナンシーシャインが直線をよく追い込み四、五着して注目をひいた、以上のように今年のダービーは一見波乱に終始した感だが、いわゆるフロックのレースではなく、今後オートキツが必ずやそれを証明することであろう

(松本彌一)

倉庫破り四人組バタヤ逮捕
有楽町付近荒す

丸ノ内署では卅日朝までにいずれも住所不定前科二犯諏訪実(二八)山田達士(三二)早川次郎(三九)野田祥平(三〇)前科四犯谷口庄之助(三五)の五名を窃盗容疑で、江東区深川森下町二三四古物商金君守(四四)を故買容疑でそれぞれ検挙した、調べでは一味は有楽町界隈のバタヤで、千代田区丸ノ内三の五日本タイムス社倉庫に目をつけ、さる三月廿日ごろから検挙されるまでの間、同倉庫の南京錠を引き抜き、前後七回にわたり扇風機四十台、ストーヴ十二台、書籍七百廿冊など卅七万余円を盗んだ、また有楽町駅

地下ケーブルの鉛約百五十枚を盗むなど十三件約百万円の窃盗を働き、金に売り飛ばし生活費に当てていたもの

若い二人服毒心中

廿九日正午ごろ大田区南六郷三の一鉄工商小田島ふじさん方に来た知りあいの同区東六郷二の一四井田泰蔵さん長男無職博君(二〇)と、同区御園町一の二六某化粧品店々員A子さん(一九)の二人がいきなり倒れたので、井田さん方に二人をかつぎこみ手当を加えたが博君は卅日朝七時死亡、A子さんは重体、蒲田署で調べているが二人は同棲しており、A子さんの親と博君との間が不和なのを悲観しての心中らしく、同日正午ごろカルモチンなどを飲んだのち「水をくれ」と小田島さん方を訪れ、同家でA子さんが便箋に遺書を書いているさい倒れたもの

夏季手当要求
労務者、都庁へ押かく

卅日午前十時ごろ、全日本自由労働組合東京支部(書記長松本保氏)の日雇労働者約二百名が、赤旗を先頭に都庁へ押しかけ代表が労働、交通、民生の各局長に面会「夏季手当として日雇労働者のA級賃金十日分」他八項目の要求をして引上げた

七生村役場焼く
放火の疑い

【八王子発】廿九日夜十一時ごろ都下南多摩郡七生村南平一四一二七生村役場=村長朝倉昭郎氏(五八)=から出火、木造モルタル二階建七十坪を全焼、重要書類など一切を焼失した、日野署で原因調査中だが、同役場は宿直員がおらず、出火当夜は休日であるため、人の出入りがなく放火ではないかとみている、小使の平定一さん(四九)は役場の裏の別棟に住んでおり気が付いたときは手のほどこしようがなかったが、表の入口が開いていたといっている

錬武館段級審査会

日本空手道場錬武館では廿九日午後一時から渋谷氷川町の温故学会内同館道場で有段会員五十名、新会員七十名について第二回の段級審査会を行った、審査員は蔡八段最高顧問中村館長金城八段ら、審査会は三ヵ月に一回行われる

小野田正氏

(電通嘱託)廿七日脳出血で倒れ渋谷区代々木の自宅で療養中だったが卅日午前五時死去、六十八歳、岩手県出身、告別式は卅一日午後自宅で行う予定

あすのスポーツ

△プロ野球 トンボ対南海(七時、川崎)△サッカー全国府県対抗(正午、神宮)△庭球 デ杯決勝戦(一時、田園)△競馬 大井(正午)

夜のアベック新コース
その一

退社後、有楽町駅で彼女と逢う。駅付近で軽く食事をとる。それから有楽座か日比谷映画でシネマスコープのロードショウをみる。九時半頃はねたら劇場前からでる観光バス(一人五十円)にのり渋谷東映前で降りる。ここから眼の前にある同伴専用のクラブ「パール」で映画の感激をフンワリ愉しもうというコースである。「パール」は一人五百円でビール二本かカクテル二杯のめて、フンイキは欧風のクラブそっくりです。

☆☆☆恋を彩どる☆☆☆
新橋「えくら」

「シャンソンでも聞きながら休みたいわ」と、彼女の瞳がうるんだら、日比谷公会堂など思い浮べるようでは失格。あなたが思いやりのある彼氏なら、新橋通り十仁病院前の「えくら」を思い出すべきだ。新橋三和銀行から当然のことだが、威村田芳雄氏の設計だというから当然のことだが、建築学の権四階に分かれた各部屋の感じといい、階段の南方土人の首飾り、ヤシの葉陰の涼感など、シャレたナイト・クラブの気分そのままの喫茶店である。甘く切ないシャンソンの歌声にピタリとした雰囲気といっていい

終夜営業だから、どんなにネバッてもかまわないから、直ぐに四階に登れば、そこは二人きりのロマンスシートだ。朝ならモーニングサービスとして、トースト付コーヒーを50円で提供。

☆☆☆☆☆☆ ブラジルにあるような本当の珈琲店「れだ」の話 ☆☆☆☆☆☆

サンパウロから帰って来た友人がブラジルにあるような粋で実質的で、しかもロマンチックな珈琲店はないか、と聞いた。筆者は銀座しか知らぬ木念人だから当てずっぽに銀座西一丁目、実業之日本社と並木通りの中間小路をちょっと入った所にある「れだ」を教えてやった。内心ビクビクしながら待っていると、しばらくしてやって来た友人曰く「君、素敵だったよ。サンパウロあたりの珈琲店に比べてちっともひけを取らない店だ」と大喜び。いささか他人の店で面目をほどこしたわけだが「れだ」といえばそんな場合に持ち出しても少しも恥かしくない喫茶店だと改めて意を強くした。レコードのコレクションも他店の二、三倍はある豪華なものだし、電蓄の最新式ハイ・ファイ装置はさすが。朝九時から夜十一時迄いつでもクラシックの聞ける店としても珍らしい。女性の美しさは改めて言う必要もない程、銀座マンなら誰でも知っている。商談によく、アベックによく、独り者にもいいという万人向きで、しかも上品な本格的珈琲店とはけだし「れだ」のことをいうのだろう。

☆☆☆☆☆☆ 酒よし気分よし 女は更によしの新宿「セルパン」 ☆☆☆☆☆☆

新宿不二屋裏の「セルパン」と聞いただけでニヤニヤする奴がいる。そんな手合いは、花よりダンゴ、いや酒より女の助平だ。といっても、誰しも人間だから、それは女は美しく色気がある方がいい。まして「セルパン」はバーだから、酒の看には何より、チラチラする太モモのつけ根にあらぬ妄想をたくましくするのも自由。見るだけなら若い精気に当てられて十年ぐらい若返えるのはむずかしいことではない。論より証拠、西園寺公は死ぬ迄実行していたというではないか。

さてそのセルパン、女性がいいのは勿論だが、バーテンがまた素敵だ。素敵といってもマスクのことではない。腕である。新宿に星の数程いるバーテンの中で、文字通りピカ一、協会の幹部でもあるという腕前だから、どんなむつかしいカクテルでも作れぬようなことはない。同じジンフィズ(一二〇円)でもマンハッタン(一五〇円)でも、ハイボール(一五〇円)一つにしても味がいいのはそのせいだ。材料は全て舶来。酒よし気分よし、そして又女よし、のバーである。

続 情炎の千代田城 (132)

岩崎栄　寺本忠雄画

交竹院（五）

「このうえは、御賢慮に預りまし[illegible]」

[illegible]絵島は右近の顔を覗き込むようにした。

「はい。談合仕り、表医師村上登順院、それから町医では、奥山交竹院を御推薦申上げることゝ致しました」

「いかにも」

うんといったように頷いてから

「で、その御両名は、むろん、お児さま医者にございましょうな！」

「はい、小児医として、あっぱれ名誉のものどもと存じました故。それにこの、村上殿と申すは、一のお部屋さまの御実家と御懇意のため、その方面のお引立により、表の医師に出世致した関係にござります」

「なに？」

絵島の眉間に、さっと曇りの色が動いた。一のお部屋様とは、右近の方のことだ。右近と左京、これは闘怨すさまじく犬と猿の仲である。

「さようにござりますか、しかし村上殿は表のお医師という立場ゆえ、これは遠慮いたし、その町医者の—奥山交竹院とやらを召し出すことに致しましょう。いや、何かと御辛労に存じました」

独断して、さっと出て行った。

まさかに、村上を避けて町医者にするとは思わなかった女朴たちは何か渡って行かれたような呆然とした表情を見交わしていた。

町医者奥山交竹院が、江戸城大奥からのお召し出しをうけたのは、その夜のウシミツ刻（午前二時）頃だった。意外なことである。当人だけの意外ではない。近所合壁が、時ならぬ御公儀のお使者に驚き醒めたのであった。

また一方、その交竹院を呼び出した城内でも、この異例な処置に愕然たらざるはなかった。すべては絵島の英断に出たことである。

将軍すらが決意しかねている中で、御生命にはかえられませぬ、万一お表におかれまして御異議のこれある場合は、私が立派に論判仕りまするし、もしものときは、女ながらも自刃致して御申訳仕ります！

きっぱりと言明し、独断専行したことであった。

別室に通され、

「たゞいま、六年寄絵島の局様がお会いなされますほどに」

と拝察されて、交竹院が泰然と控えているところへ、小姓を従えて絵島が現われ、スッと上座に着座すると、すぐに口を切った。

「これはこれは、深夜にもかゝわらず、火急の召出し、恐縮千万」

「は、なに、医家と致しては通常のことにござる」

傲然としている。入道頭で、気品があって、堂々としたかっぷくで、昔の絵にある平清盛みたいな人物。年配は、まだ四十前らしい。

「早速ながら、御世子鍋松君の御容態、午過ぎごろよりの俄の御発熱……」

「暫く！」

一声にピシリと圧されて、と、一応の病状を告げ、

「いざ、御病床へ、一刻も早く」

と立ちかゝる絵島を、

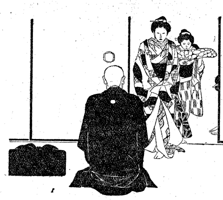
「御病体を診察申上げるに先だち、いろいろと伺って置きたいことがござる。先ず、お年は？」

「お三歳にござります」

「お三歳ではわかりかね申す。正しくお何年何月にござるか」

「されば——お三歳と四月にござります」

絵島もこの男の前では、いさゝか押され気味の応待だった。



その日 ㉔

小林清



とき　雨上りのとある夕、空にはまだ黒い雲が掛っていて巷は帰りを急ぐサラリーマンであわたゞしい

ところ　新橋四つ角にあるキャバレーのネオンが、ドブ川に淡く反射する、その建物の一室だが、中央に両袖の机がデーンと置かれ、上手には[illegible]ソファー、小机など社長[illegible]

[illegible]

やゝこしい映画論

道楽は乗馬と自動車

金もうけも信心から

[illegible]

浪曲に翻訳もの登場

昔懐かしいカチューシャ「復活」

春日井加寿子が放送

さいきん浪曲界にも新作が続々と登場しているが、さらに新しい試みとして文豪トルストイの世界的名作「復活」が浪曲化され話題を呼んでいる、これは六月下旬発表の運びとなり続いて「カルメン」「椿姫」なども登場することになっているが、バタ臭い外国作品がどのように生かされるか興味が持たれている



春日井加寿子

話題になっている「復活」は来月の廿日と廿七日の夜二回にわたり文化放送から春日井加寿子が放送する「カチューシャ」で企画・脚色者はラジオ演出家の内山惣十郎氏である加寿子は浪曲界の元老春日井梅鶯の一人娘で、松陰高女出身四年前に芸界入りして以来めきめき売出し、昨年七月帝劇で幹部昇進披露をした若手女流のホープで従来の股旅モノや母モノなどから一歩踏みだした作品を目標に修業を重ねてきた、脚色者の内山氏は発生期のオペラに関係したり沢正一座文芸部員などの経歴をもち浪曲の現代化に力を尽している人、文化で毎週月曜夜放送されている〝歌謡浪曲シリーズ〟も同氏の作品だが「カチューシャ」はこのシリーズの最終回を飾るものとして登場する「カチューシャ」は前篇「モスクワの巻」と後篇「シベリヤの巻」の二部から成っており、前篇には相馬御風・島村抱月作詞、中山晋平作曲「カチューシャの唄」が挿入されており、後篇には吉井勇作詞、中山晋平作曲の「さすらいの唄」が歌われる、この「カチューシャの唄」は四十年前に芸術座で松井須磨子が演じた「復活」の主題歌で「さすらいの唄」は同じく「生ける屍」の主題歌で、当時芸術座を脱退した沢正と一緒に雪の北海道へ半年巡業にでかけ惨めなご難芝居を経験した内山氏は、その時の沢正のネフリュードフの面影や、松井須磨子のイメージを胸に描いてこの芝居の筋立てを生かして脚色したという、当の春日井加寿子は千葉県市原郡鶴舞町の自宅で

「私も前からやってみたいと思っていました、内山先生からお話いただいた時は本当に嬉しくてなりませんでした、父も私の喜びようをみて、こんどは一切お前の気持でお前なりに演ってみろといっております、いま一生けん命テープと取組んで勉強中ですが、やはり不安なので録音も最初六月十三日に二本というお話だったのを六日と十三日に分けていただくようお願いしました、女性の浪曲ファンが多くなっている折から、女流浪曲家らしく女性を主人公としたこのような画期的なものを口演することに生き甲斐を感じております」

と語っている

八時間の抱擁

ご両人フラフラ

○…さてお立会い、ここに掲げた三枚のスチールは何れもセレクト・インターナショナル映画ロバート・レオナード演出「暗路」のもの、俳優さんはご存じロバート・テイラーにエヴァ・ガードナーの二人だが、これら三枚を含めてたった一枚の採用分を製作のために、延々八時間、やれ「エヴァ、もっと夢見るような眼をして、お色気が足りんぞ」だの「ボブ（テイラーのこと）抱いた手の指に力が入ってないね」てな具合で、くっついたり離れたりして、何と卅九枚抱擁場面を撮り直したというからご苦労さまな話

○…普通はこれほど念入りにはやらないのですが、それはそれ、いくらアメリカでも大金かけた一本が当らなければ監督どののカナエの軽重を問われるし、ひいてはその後の注文にもさし支え、オマンマの多寡にもひびいて来ようというものです、そこで大ていは助監あたりに任す仕事を陣頭指揮という涙ぐましさ、卅九枚中OKとなった一枚はというと、アゴとアゴとをくっつけたもので、あとは肩カゴヘボイ、トーシローの向きには、美女を八時間抱きっ放しとは結構なと思われるでしょうが、なんのなんの、汗はジトジトにじんで来るし、おテテはくたびれるし、そうそう気分の出しっ放しというわけには行かんそうです【写真㊤が合格㊦二枚は没作品】







藤乃高子松竹に出演

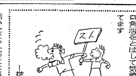
再契約せず当分止まる？



松竹大船の藤乃高子（写真）は四月に契約が切れたまゝ再契約に応ぜずにいるところから一時は日活入りに決定したと伝えられた、ところが彼女は卅一日クランク・インする大船の新人尾崎甫演出の第二作「お嬢さんの求婚」に出演と決定、当分はこのまゝ松竹に止まるものとみられるこの点につき彼女の母親は「日活からは話はありますが、具体的なものではありませんからそのまゝ見送っています、大船とは再契約はいたしておりませんが、まあ当分現在のまゝの形で松竹の作品に出していただくつもりでおります〝お嬢さん―〟を終ったら日活へ行くというようなことはございません」といっている

また松竹野口取締役は「四、五日前新橋クラブで当人と会ったときも訊ねてみたんですが、〝日活入りなんてデマです、つまらぬ噂をたてられて迷惑してます〟とはっきりいってましたよ」と楽観している

おしゃべり横丁

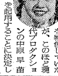


ビール会社スト　口角泡をとばして気勢をあげてます　―従業員

新人中原早苗を起用

アプハチ座「恋愛の技術」

六月廿二日から五日間ヴィデオ・ホールで行われるアプハチ座公演キノトール作「恋愛の技術」のヒロインには、かねてから同人一同手わけして各方面から清新な新人を物色していたが、このほど現代プロダクションの中原早苗（写真）を起用することに決定した、彼女は同プロの「村八分」でデビューした女優で、藤尾純を父に南部雪枝を母に持っている



催し　第二回ユニーク・ダンスリサイタル　卅日五時、日本青年館、東京で新作発表する目的で法村、友井近代バレエ團門下の大阪スタジオから友井襞、高田由紀子、山本鶴久子、鈴木多起子、環佐多子、箕富雍子、井谷清子その他が上京「寄港地」その他を上演する

都々逸

石井きんざ選

松の陰から二人をまねく
忍び逢う夜の月灯り
長岡・小川葛城

若い燕がこの頃出来て
位牌も忘れてする化粧
南千住・松永志ん



番号ちがいにかかつた電話
知らぬ振りして聞く話
新宿・斎藤耕月

出来る事ならあの街の角
無くしてどこ迄も送りたい
調布・黒作

神輿の金具が朝日に映えて
街をあかるく練り歩る
向島・君福

◇

美人でも夜叉と呼ばれる女じゃ困る
おかめでもよいやさしけりや
選者

はと笛

▽…にんじんくらぶの第一回自主製作映画という谷崎潤一郎原作「乱菊物語」の企画はその昔阪妻プロやら帝キネをやったりした映画界の古強的存在の立花良介氏なのだが、七十歳を迎えてまだカクシャクたる元気で張り切っている



▽…だから彼の孫である田村高広も、このお爺チャンには一切頭が上がらないのだが、ただ一つアッといわせたことがあったのだそうだ、というのは目下お爺さまの経営している日比谷のレストランで田村青年がウィスキーの角ビンを一度に三本あけたことなのだ、これには立花老も「さすがにオヤジ（阪妻）の子だよ」と口をアングリ「オヤジも安心するだろう」とは高広も大変な親孝行だ【写真は田村高広】